

# 狛江市におけるオンライン学習の取組

令和2年9月  
狛江市教育委員会教育部指導室

Society5.0 時代には、授業や、授業以外の場においても、ICT を活用しながら、子供たちの対話的、協働的な学びを実現することが求められます。今後は、学校の長期間にわたる臨時休業により明らかになった対面指導の重要性、オンライン授業の実践で明らかになりつつある成果や課題を踏まえ、子供たちの発達の段階に応じて、教師が対面指導とオンライン授業とを適切に使い分けていく「ハイブリッドな授業」を推進することで、狛江市の子供たちのより一層の協働的な学びを展開していきます。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月以降

配信型

双方向型

## 【新型コロナウイルス感染症に係る臨時休業等】

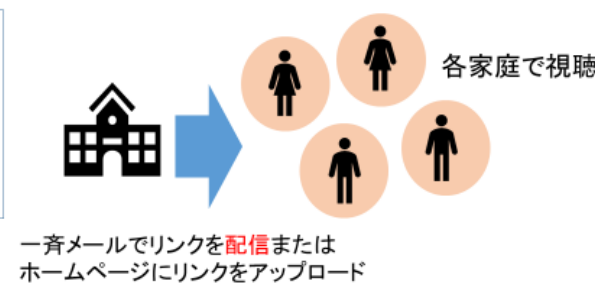
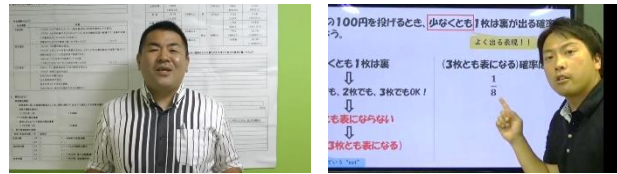
- 令和2年2月27日 政府から全国の学校に臨時休業要請
- 令和2年3月2日 狛江市立小・中学校 臨時休業の開始
- 令和2年6月1日 狛江市立小・中学校 学校再開 (6/26まで分散登校)

## 臨時休業中における

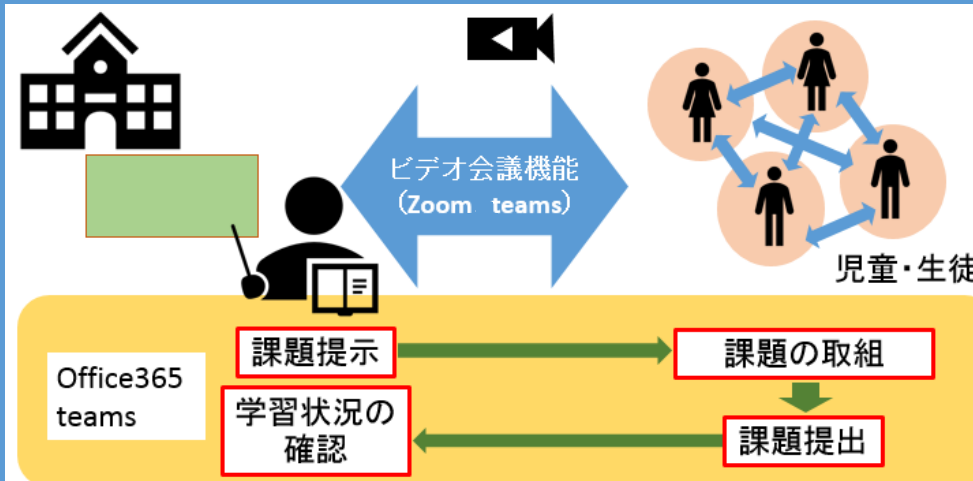
### YouTubeによる授業動画の配信(各学校)

臨時休業期間中、狛江市立小・中学校では、児童・生徒が学び続けることができるよう、紙媒体による学習課題に加え全校で連携を図りながら授業動画を配信しました。  
(学校ホームページの保護者用ページに、授業動画へのリンクを貼付)

<総動画本数>  
全校で合計  
約700本



## Office365等を活用した双方向システム全校導入に向けた検証



※ Zoomの活用についても並行して検証

### <指導室の取組>

- オンライン授業が滞りなく実施できるよう、児童・生徒のアカウント発行等、実施体制の整備を進めています。
- 検討委員会を立ち上げ、各学校のICT活用に関する効果的な取組状況を共有します。
- 児童・生徒の端末の操作方法やソフトの活用方法等、教員への総合的な支援については、文部科学省のGIGAスクールサポーターを活用します。

### 検証① ビデオ会議機能の活用

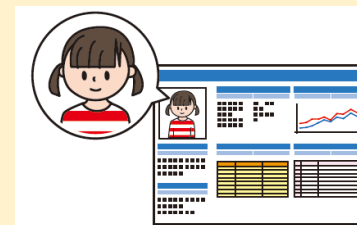
- 分散登校中にZoomで学級活動を実施しました。
- Teamsで、ある教室での講義の映像を、オンラインで別教室に配信しました。
- Teamsで校外から講師がオンラインで講義を行いました。

### 検証② 課題の提出・意見の共有機能の活用

- 分散登校中にFormsで課題を与え、Teamsで提出するようにしました。
- OneNoteで各班に課題を与え、協働での課題解決を図りました。

### 検証③ 「学習履歴」の蓄積

デジタルドリル等による学習データを活用することにより、学習履歴(スタディ・ログ)を蓄積して共有化を図ることをとおして、「多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び」の実現を目指します。  
※8月末まで、大日本印刷株式会社から「東京ベーシック・ドリル クラウド版」の無償提供



- ★モデル校及び検討委員会による検証
- ★GIGAスクールサポーターとの連携

による成果

オンライン学習の  
全校展開!  
&  
ハイブリッド授業の  
推進!

- ★1人1台端末
- ★ICT環境
- ★教員の活用スキル向上

の実現

文部科学省  
「GIGAスクール構想」の前倒し表明

市教育委員会  
令和2年9月末を目標に、児童・生徒1人1台端末の実現を構想  
(小学校はiPadOS 中学校はWindows)

学校におけるICT環境の整備  
9月末までに端末の配備  
教員対象の研修会の実施